

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コベルプラス中山教室(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 44
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域に根差した事業所を目指し、お子様達に関わる様々な関係機関と「顔の見える関係」作りを行うことで、当事業所だけでは解決できない様々な課題を連携して解決できるような体制が作れていること。	お子様達に関わる関係機関(学校・幼稚園・保育園・地域の子育て拠点・療育センター・区役所・児童相談所・基幹相談支援センター・他事業所など)と定期的に訪問・情報交換する中で「顔の見える関係」になれるようにし、当事業所だけのサービスで完結させることなく「繋げる」ことを意識的に行っている。	既に関係ができている関係機関とは引き続き「顔の見える関係」を維持しながらも、お子様達に関わる関係期間との関係(「顔の見える関係」)を広げていくようにする。
2	多機能型事業所(児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業)の為、継続して利用が可能であること。長く利用してもらえるので保護者の方とも信頼関係を築きやすい。	多機能型事業所なので継続的にお子様の様子を把握し支えることができている。 継続的にお子様の様子を把握できるので長期計画を立て、成長に合わせた支援を行えている。	保護者の要望に応じて学校等の関係機関と連携し、訪問や見学を行うなど、関係構築を図っているため、今後も必要に応じて連携を継続し、きめ細かな支援につなげていきたい。
3	専門性を活かしながらチームとして支援ができている。	保育士・作業療法士・心理士・社会福祉士などの専門資格保有者が多く、多角的な視点での支援が可能となっている。資格は持っているだけでは意味がないので研修などを行い質の向上を図っている。 職員間の意思疎通もしやすい環境作りを心掛けている。	言語聴覚士等の言葉の専門家が当教室にはいないので本部に配属をお願いしている。 引続き研修・勉強会などの機会を増やし専門性をさらに高めていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会が開催されてない等、保護者同士の交流の場がまだまだ少ないこと。 ペアトレ等のテーマに沿った学びの場が少ないこと。	定期的な保護者会・ペアトレの開催となると場所の確保・本児及び兄弟児の過ごし方等の課題がある。	保護者会など当事者同士の繋がりやペアトレ等の学びの場は必要だと感じているので近日中に開催を検討する。また保護者会の場所の確保・兄弟児がいる際はスタッフの確保も必要となるので開催に向けて検討していく。
2	避難訓練などを行なっているが周知が弱く、参加者が少ない。	保護者への周知・参加への協力要請が弱かった。	避難訓練(火災・地震・不審者)の周知を強化し、全利用者に参加してもらえるように働きかけをさらに行う。
3	スタッフの異動(退職含め)が多かった為、お子様・ご家族及び残っているスタッフに不安・負担を感じさせてしまった。	人材確保・安定・定着化は当事業所だけの課題ではなく福祉業界全体の課題ではあるが、本部とさらに連携しながら働きやすい環境作りをさらに進めていく。	本部とさらに連携しながら人材の確保・安定・定着化を図り、お子様・ご家族及び残っているスタッフに不安・負担を感じさせない環境作りを目指す。